

実質化された人・農地プラン

| | | | |
|-----|----------|-----------|----------|
| 市町村 | 対象地域名 | 作成年月日 | 直近の更新月日 |
| 玉名市 | ① 玉名北 地域 | 令和3年2月24日 | 令和3年9月2日 |

1 対象地域の現状

| | | |
|--------------------------------------|-------------------------|----------|
| ①地域内の耕作面積 | 1,583.5 ha | |
| ②アンケート調査等に回答した地域内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計 | 792.8 ha | |
| ③地域内における70才以上の農業者の耕作面積の合計 | 311.9 ha | |
| i | うち後継者のいない農業者の耕作面積の合計 | 132.5 ha |
| ii | うち後継者について未定の農業者の耕作面積の合計 | 64.5 ha |
| ④地域内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計 | 96.5 ha | |
| (備考) アンケート実施年度：令和元年度 | | |

2 対象地域の課題

| |
|--|
| <p>梅林・小田・玉名地区については、農道及び用排水路の整備が不十分な箇所が多く、排水の不便などが目立っている。 また、耕作者の高齢化も著しく、離農者の増加及び管理不足により耕作放棄地が増加しつつある。</p> <p>石貫・三ツ川地区については、農道及び用排水路の整備不足に加え、耕作放棄地の増加が課題となっている。 荒廃地化の防止及び集積・集約を進めるうえで、中山間地等の農用地の利便性改善が大きな課題となる。</p> <p>玉名町・築山地区については、農道及び用排水路の整備不足に加え、耕作者の高齢化による離農及び離農の際の土地の取り扱いが課題となっている。 地権者が宅地化を望む場合があり、耕作可能面積が減少傾向にある。 また、宅地周辺の農地も多く存在するため、防除の際など作業効率が非常に低下してしまうなどの、不便性における課題もある。</p> |
|--|

3 対象地域内における中心経営体への農地集積及び耕作地集約化に関する方針

| |
|---|
| 集落営農組合及び認定農業者、法人が中心となって集積・集約化を推進する。 梅林地区については、農事組合法人梅林及び認定農業者が連携のもと、農地の集積・集約を推進する。 |
|---|

中心経営体の現状・今後の農地の引き受け意向 (ha)

| | |
|-----------------|--------------|
| 引き受け意向のある中心経営体数 | 中心経営体の現状耕作面積 |
| 12 経営体 | 87.3 |